

グループワーク 『個別ケア』とは何か？

- ◆今までの生活環境を把握する。
- ◆興味ある事を尊重する。
- ◆日常会話の中から望んでいりことをさぐり出し、本人に提案。
- ◆好きな食べ物を提供する。
- ◆無理強いはしない。
- ◆役割を見出してあげる。
- ◆性格・病歴・生活歴・家族構成・その人本人の希望などを考慮した上でのユニットケアを代表する新しいケアの方法。
- ◆個別のニーズに対応した個別の対応
- ◆職員全員が統一された意識の中で行うケア
- ◆情報共有をしていく
- ◆その人にとって気になる事があれば日時関係なくすぐ話し合う
- ◆その人の生活状況を把握していく
- ◆個別ケアは普通のこと。
- ◆入居者、スタッフは一緒に時を過ごしている。スタッフに対しては、仕事場ではなく、おじいちゃん、おばあちゃんの家に来ていると思って欲しい。
- ◆今は、個別ケアと言う名の管理体制になっている場合がある。
- ◆一人一人にあわせた支援
- ◆病状・趣味・思考・嗜好に合わせた支援。
- ◆必ずしも1対1ではない（特別扱いではない）
- ◆ケア自体に意味（根拠）がなければならない。
- ◆楽しい・快・プラス思考。
- ◆孤立しない、社会（周り）とつながる。
- ◆病気の種類（既往）・生活歴・性格・好きな事・嫌いな事・年齢・性別・本人の思いなどに合わせたケア
- ◆その人の生活歴・その人の思考・その人の希望・その人の夢・その人の望む生き方・その人のすべてを受け入れ、1人1人の思いに寄り添い支援していくこと。
- ◆その人らしい生活
- ◆その人が望む生活
- ◆その人の病状にあったケア

- ◆家族が望む事
- ◆生活の活性化
- ◆一人一人の意思を尊重する。
- ◆その人に合った機能訓練を行う。
- ◆利用者本人が満足するケア。
- ◆その人を知る事（病気、性格、バックグラウンド）
- ◆その人を理解する。
- ◆その人を受け入れる
- ◆その人を認める。
- ◆そもそもケアとは？
 - 出来ない事を支える事、援助
 - その人の生活歴、性格を考える
 - 一人一人持っているものを引き出す
 - 利用者さんとの会話が重要ではないか
 - そこから、ケアが始まるのでは
- ◆1人ひとりの症状、状態に合わせたケア
- ◆その人が満足感を得られるケア
- ◆生活や生きてきた人生を大切にされたケア
- ◆BPSD、環境、ADL、QOLに配慮したケア
- ◆スタッフがその人に対して同じ思いを持ちケアする（統一ケア）
- ◆一人一人を理解して関わること
- ◆その人のペースに合わせた支援
- ◆その人の思いを実現できる支援
- ◆その人がなじんだ生活を尊重し継続できるケア
- ◆その人にしかできない、その人の役割を実践してもらう環境づくり

(その他)

◆職場⇒家族⇒地域（病院、社会 etc）⇒本人

